

NEWS LETTER

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

建学の精神 *Since 1935* (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専科コース
- 製菓衛生師コース

表彰状授与

商業教育に貢献

2月27日(水)、在学中に商業教育の主旨を良く理解し優秀な成績を修めた生徒に対して表彰状が贈られました。受賞した生徒は次の通りです。

氏名	出身中学	授与者
杉本 裕太	南小倉	全国商業高等学校校長会
緒方 鈴子	引野	福岡県商業高等学校振興部会
王 輝	菊陵	産業教育振興会中央会
高岡 尚矢	若松	福岡県産業教育振興会
吉峰 美里	上津役	

健康福祉コース

修了証授与式

2月16日(土)、訪問介護員養成研修2級課程及び難病患者等ホームヘルパー修了証授与式があり、卒業を前に学校長から修了証が渡されました。これからの活躍を期待していますと祝辞を述べられました。



保育コース

卒業制作発表会

2月15日(金)、卒業を前に3年生の卒業制作発表会がありました。5つのグループに分かれてパネルシアターの発表が行われ、それぞれが趣向を凝らした作品に多くの拍手が送られました。



卒業証書授与式

第63回 高校卒業式

3月2日(土)、第63回卒業証書授与式があり、287名の卒業生は学校長より一人ずつ卒業証書を授けられました。



答辞を述べている卒業生代表の原悠季乃さん(高中生)

看護科・看護専攻科

2月17日(日)、看護専攻科生47名が第102回看護師国家試験に臨みました。前日に恒例の壮行会があり、学校長より朝食をしっかりと摂りベストなコンディションで頑張ってくるようにと激励の言葉を頂きました。結果は、3月下旬の予定です。



製菓衛生師コース

2月4日(月)～6日(水)の3日間、熊本から武藤欣弥先生をお迎えし、1年生が初めての製パン実習に臨みました。食パンや菓子パンなど10種類のパンを作りました。



健康福祉コース

優良賞受賞！

修学旅行

高校2年生

2月9日(土)、東京日比谷公会堂で、第6回日本の福祉現場力を高める研究大会があり、この中で昨年の11月「高校生作文コンテスト」に3000を超える応募の中から最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞3名の5名が選ばれ本校健康福祉コース1年木内昂さん(香月中学)が優良賞を受賞し表彰されました。緊張した面持ちで賞状を受け取り嬉しさをかみしめていました



表彰を受ける
木内 昂さん
(香月中学)

「あなたの笑顔のためだけに」

木内 昂

私は介護福祉士養成校に通う一年生です。そんな私にデイケアセンターへ実習に行く機会が訪れました。私は初めての实習で何を目標にしたらよいか分かりませんでした。結局決まった目標は、利用者さんの安全を考えた配慮を心掛け行うことでした。この時まで私は、一番に利用者さんの安全を考え臨むべきだと思っていました。実習が始まり私は凄く緊張していました。しかし、利用者さんと接し笑顔を見ていると徐々に緊張は溶けていきました。三日目の入浴で、ある利用者さんの体を洗わせていただいた時のことです。私は目標通り利用者さんの立場に立ち、安全を配慮し、介助を行いました。体を洗い終わるとその利用者さんが「ありがとう。こんなに丁寧に洗ってくれた人は初めて、ホントにありがとう。」と、笑顔で言ってくれました。私は驚きのあまり、一瞬手が止まってしまいました。次の瞬間には、嬉しさや喜びが込み上げてき、私の目には涙が溜まっていた。私は「いえ、私の方こそ洗わせていただいて、ありがとうございます。」と、声を震わせながら答えました。この時私は、利用者さんの言葉の重さを実感しました。

利用者さんの安全を配慮し、介護を行うことは大切です。しかし私は、どうすればこの方の笑顔を引き出せるのか、どうすればこの方は幸せになれるのかを考え接していくことが大切だと思います。私にとって福祉とは、関わる対象者の笑顔やその方に幸せになってほしいと願う気持ちそのものだと思います。

その願いを叶えるために私は今を頑張り、立派な介護福祉士になります。



予餞会



2月26日(火)、卒業を前に3年生を送る予餞会がありました。在校生による出し物と3年生中心の先生方によるパフォーマンズがあり楽しいひと時となりました。



「折尾駅今昔物語」第7回 エピソード⑦

1961(昭和36)年10月1日鹿児島本線電化開業と同時に地元請願駅として水巻駅(折尾駅管理)が電車列車停車場として開業した。なを、開業時は電車列車9往復のみの停車であった。1963(昭和38)年10月東小倉駅に手荷物及び小口扱貨物中継センターを開設し手荷物新輸送方式(駅～東小倉駅間は自動車輸送、東小倉駅～次の拠点駅まで列車輸送方式)に変更し13名要員減の合理化に始まり以後1965(昭和40)年ごろからエネルギー革命による石炭輸送の衰退に伴い1914(大正3)年から続いた日本炭鉱高松鉱業所専用線廃止・鉄道電話自動化(9名減)1966(昭和41)年以降輸送構造の変化に伴う輸送近代化推進で踏切自動化など合理化の嵐の幕開けとなる。1972(昭和47)年3月鹿児島本線の列車体系が改められ新設の小倉～博多間特別快速列車の停車場(小倉・戸畑・黒崎・博多)を筑豊炭田の不振による利用客減から新興の黒崎駅に奪われたが折尾地区の宅地開発や都市化が進み利用客増で1975(昭和50)年3月新幹線博多開業時の時刻改正で特別快速列車停車場に指定され多年の念願であった特急列車停車も1988(昭和63)年3月時刻改正で実現した。

資料提供：田原耕作氏